

# 新年のごあいさつ



登別市議会議長  
高橋 正美

新年あけましておめでとうございます。  
市民の皆さまにおかれましては、希望にあふれた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。  
また、日ごろから議会活動に対し特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
昨年11月27日に市内で発生した暴風雪に伴う大規模停電では、市民生活をはじめ、市内経済に大きな影響を及ぼしました。  
この経験により、私たちは、災害に対する備えの必要性を改めて痛感すると同時に、一方で町内会関係者による独居高齢者の安否確認や避難所における市民団体のボランティア活動など、助け合い、支え合う『地域の力』の大切さを再認識することにもなりました。  
さて、登別市議会は昨年、『登別市議会基本条例』に掲げる理念のもと、議会フォーラムをはじめ、市内の各種団体や地元企業との意見交換会など、多くの市民の皆さまの意見をお聞きするため、積極的な活動に取り組んでまいりました。  
今後も、さまざまな市政課題の解決に向け、市民の皆さまの声を十分お聞きし、活発な議論を重ねるとともに、市議会の改革・活性化に引き続き取り組みながら、市民と協働する議会を目指し、全力を尽くしてまいります。  
本年が市民の皆さまにとりまして、幸せて実り多く、飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさつといたします。



登別市長  
小笠原春一

新年あけましておめでとうございます。  
市民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。  
昨年は、5月に『SLみなと室蘭140周年号』が登別駅と室蘭駅の間で運行され、37年振りに蒸気機関車がこの地域を走りました。  
市内の駅や沿線には、試運転を含め4日間で1万3,000人余りの市民や全国から訪れた鉄道ファンなどが足を運び、たくさんの笑顔があふれる思い出深いイベントとなりました。  
また、11月には、平成14年から友好交流促進都市として交流を続けてきた中国広東省広州市を訪問して友好都市協定を結び、末永い友好と交流を誓い合っていました。  
さて、昨年11月27日から30日にかけて、市内全域で大規模停電が発生し、市民生活や企業活動に大きな影響を及ぼしました。  
この間、特に町内会の皆さまには、避難所情報の発信や安否確認を精力的に行っていたいただき、多くの市民が避難所で過ごすことができました。これは日ごろからの連携の成果と確信し、今でも心強く感じております。  
本年も、地域と地域、人と人の結びつきを大切にしながら、誰もが安全に安心して暮らせる『のぼりべつ』を創り上げるため、決意を新たにして市政の推進に努めてまいります。  
本年が皆さまにとって、幸多き年であることを祈念し、新年のごあいさつといたします。